

遠隔授業（授業回数全体の半分以上）の場合は、科目名の先頭に が付加されています（2022年度以降）

開講科目名 / Course	国際観光論 / International Tourism		
時間割コード / Course Code	T4T10450_T1		
開講所属 / Course Offered by	観光学部 / Faculty of Tourism		
ターム・学期 / Term・Semester	2023年度 / Academic Year 第2クォーター / 2Q		
曜限 / Day, Period	木 / Thu 1, 木 / Thu 2		
開講区分 / Semester offered	第2クォーター / 2Q		
単位数 / Credits	2.0		
学年 / Year	1,2,3,4		
主担当教員 / Main Instructor	出口 竜也 / DEGUCHI Tatsuya		
授業形態 / Lecture Form	講義		
教室 / Classroom	T 1 0 1 教室 (西 4 号館) / T101		
開講形態 / Course Format			
ディプロマポリシー情報 / Diploma Policy	要件所属 / Course Name	ディプロマポリシー / Diploma Policy	DP値 / DP Point
	観光学部	地域への関心と国際的視点	10
担当教員名 / Instructor (担当教員所属名 / Affiliation)	出口 竜也 / DEGUCHI Tatsuya (観光学部 (教員))		
授業の概要・ねらい / Course Aims	観光の国際化が経済的、政治的、社会的、環境的にどのような影響を与え、どのような課題を生み出しているかを主として日本を起点としたインバウンドを中心に考察する。国内外のさまざまな事例を比較し、共通点と相違点を抽出しながらグローバル環境における日本の国際観光のありようを俯瞰する。また、国内外のインバウンド観光の事例に明るいフリーライターの方（此松武彦氏）をゲスト講師をお招きし、インバウンドの最前線の現状を知る機会もつくる予定である。		
到達目標 / Course Objectives	世界の観光産業は、2020年初頭に発生したCovid-19の感染拡大で多大な打撃を受けてきたが、徐々に回復の傾向を見せている。こうした現状を各種統計データから正しく理解し、観光経営のフレームワークを活用しながら、これからの国際観光のあり方について、学際的（経済的、経営的、政治的、社会的、歴史的、文化的）な視点で分析できる能力を涵養する。		
成績評価の方法・基準 / Grading Policies/Criteria	中間レポート(1回予定:30点)、最終課題(70点)で評価します。 到達目標、および文章表現力にもとづいて下記の評価基準を適用します。 S: 十二分に達成している(中間レポート27点以上、最終課題63点以上) A: 十分に達成している(中間レポート24~26点、最終課題56~62点) B: 達成している(中間レポート21~23点、最終課題49~55点) C: おおむね達成している(中間レポート18~20点、最終課題42~48点) 不可: 達成していない(中間レポート18点未満、最終課題42点未満)		
教科書 / Textbook	特に使用しません。資料等を配布し、授業を行う予定です。		
参考書・参考文献 / Reference Book	アレックス・カー、清野由美(2019)『観光亡国論』中公新書 ISBN-10: 4121506502 902円 授業で直接使用しませんが、日本の観光の問題点を理解するうえで大いに役立つ書籍です。		
履修上の注意・メッセージ / Notice for Students	授業をしっかりと聞き、しっかりとノートをとるだけでなく、自らいろいろと調べて得られた知見をもとにレポートなどの課題に取り組んでください。		
履修する上で必要な事項 / Prerequisite	レポート課題の提出はMoodleを使用します。提出にあたっては、様式と期日の厳守をお願いします。また、授業内でPCを使用する回もあります。事前に告知しますので、その際は各自持参してください。		
履修を推奨する関連科目 / Related Courses	観光経営関連の科目		
授業時間外学修についての指示 / Instructions for studying outside class hours	本授業の授業計画に沿って、準備学習1.5時間と復習1.5時間を行ってください。毎回、授業の最後の時間において予習・復習すべき課題を指示しますので、必ずそれらの課題をしっかりとこなした上で次回の授業に臨んでください。		
その他連絡事項 / Other messages			
授業理解を深める方法 / How to deepen your understanding of classes	なし		
オフィスアワー / Office Hours	水曜日4時限 訪問先:西4号館 出口研究室		
科目ナンバリング / Course Numbering			

授業計画詳細 / Course schedule

回(日時) /Time (date and time)	主題と位置付け(担当) /Subjects and instructor's position	学習方法と内容 /Methods and contents	備考 /Notes
1回目	イントロダクション	授業の概要と到達目標に関する解説	
2回目	国際観光のフレームワーク(1)	外なる国際化としてのアウンパウンドに関する講義	
3回目	国際観光のフレームワーク(2)	内なる国際化としてのインパウンドに関する講義	
4回目	国際観光の歴史と現状	諸外国における国際観光の歴史と現状に関する講義	
5回目	日本の国際観光の歴史	日本における国際観光の歴史に関する講義	
6回目	日本の国際観光の現状(1)	各種データからみる日本のインパウンド観光の現状と課題(1)	PC使用
7回目	日本の国際観光の現状(2)	各種データからみる日本のインパウンド観光の現状と課題(2)	PC使用
8回目	日本の国際観光の現状(3)	各種データからみる日本のインパウンド観光の現状と課題(3)	PC使用
9回目	日本の国際観光の現状(4)	各種データからみる日本のインパウンド観光の現状と課題(4)	PC使用
10回目	日本の国際観光の現状(5)(此松武彦氏)	インパウンド観光の最前線(1)に関する講義	
11回目	日本の国際観光の現状(6)(此松武彦氏)	インパウンド観光の最前線(2) 受講生との質疑応答	
12回目	ケーススタディ(1)	Covid-19下で事業者が行ってきたことに関する講義	
13回目	ケーススタディ(2)	Covid-19下で地域が行ってきたことに関する講義	
14回目	ケーススタディ(3)	Covid-19収束後に事業者や地域がなすべきことに関する講義	
15回目	まとめ	日本の国際観光の展望	